

学校評価保護者・児童 アンケート結果①

12月に行いましたアンケートの集計結果をお知らせします。保護者の総数193に対し、回収数は151、回収率78.2%でした。(昨年度78.2%)

各項目、A～Dの回答数とAB、CDを合わせたパーセンテージで結果を表しています。

A…そう思う。良い。 B…おおむね思う。おおむね良い。
C…あまり思わない。あまり良くない。 D…そう思わない。よくない。 ?…判断できない。わからない。

アンケート考察



今年度も、児童アンケートを実施するとともに、項目も児童アンケートとリンクさせて実施しました。児童アンケートと保護者アンケートの結果、昨年度との結果も比較しながら結果を考察していきます。

○「学校生活は楽しんでいる・楽しそう」は、おおむね高い評価をいただいております、AB評価が昨年度から比べ、児童、保護者とも高い評価を得ています。○「国語・算数の授業の指導・取り組み」も一定の評価をいただいております。子どもたちの評価は高くなっていますが、保護者は若干下がっています。○「わからないことは先生の質問しています」児童、保護者ともに昨年より低い評価になっています。質問の内容から、「わからないことが特に無いので、質問をしていない」ともとれないことは無いのですが、児童が『わからないことを気軽に質問』できて、よくわかり楽しく学べる授業をさらに目指していきます。○「進んであいさつをする」は児童、保護者とも昨年よりAB評価は高くなっていますが、児童は挨拶をしているつもりでも、保護者は、あまりできていないと感じているようです。いつもさわやかな挨拶の声が響き合う糸井小を目指し、取り組みを強化していきます。○「学級や学校の決まりを守る」は児童では昨年よりAB評価が高くなるなど、おおむね高い評価をいただいております。○「進んでうがい、手洗い、体力づくりをする」は昨年同様、児童と保護者の数値に開きがあります。学校ではできていても、家庭に帰ると実践できないのであれば、工夫した取り組みを考えていきます。○「悩

みや困ったことを先生に相談できます」は、『悩みや、困ったことが無いので相談しない』ともとれないことも無いですが、児童が悩みや困ったことを先生に相談できることは、生徒指導・学級経営の根幹です。この数値が昨年同様、児童・保護者共に低いのが残念です。教師がもっと児童の心に寄り添い、互いに信頼し合える人間関係を築くための取り組みを工夫していきます。○「友だちと仲良くする」は、児童では昨年よりABが伸び、おおむね高い評価をいただいております。○「家では、テレビやゲームの遊びの時間が長くないように気をつけています」「家では、家庭学習を進んでやっていますか」は現代では、どこの学校・家庭でも悩んでいるテーマとも言えます。本校では、「がんばり表」の取り組みで、家庭学習を学年×10分プラス10分を目標に意識化を図っているところでもありますが、さらなる意識化・行動化の方策を探っていきます。

今回のアンケートで課題が明らかになったところは、今後検討し改善を図っていきます。

その他のご意見については、次号に掲載します。

